



2025年1月14日

各 位

会 社 名 杏 林 製 薬 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 荻 原 豊  
コ ー ド 番 号 ( コ ー ド 番 号 4569 東 証 プ ラ イ ム )  
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 部 長 谷 藤 功 典  
電 話 03-6374-9702

## BIODOL 社との疼痛治療薬候補化合物 BDT272 に関するオプション契約締結について

当社は、BIODOL Therapeutics (本社：仏 Montarnaud、CEO：Fabien Granier、以下、BIODOL 社) が創製した疼痛治療薬の候補化合物である BDT272 について、オプション契約を本日付で締結しました。

本契約に基づき、当社は、日本及びアジア地域 (中国を除く) における開発・販売権のライセンスに係るオプション権を有します。また当社は、BIODOL 社に対してオプションフィーを支払うとともに、本契約に基づくオプション権を行使した場合には、同社とライセンス契約を締結し、契約一時金、開発から発売までの進展に応じたマイルストーンペイメント、ならびに発売後の正味売上高に対する一定率のロイヤリティを BIODOL 社に支払います。

BDT272 は、神経障害性疼痛などの慢性疼痛の発症と持続に深く関与する FLT3 (受容体型チロシンキナーゼファミリー) を阻害することで、効果的な鎮痛作用を発揮すると考えられます。

当社は、医療ニーズに応える価値の高い新薬の提供を目指し、創薬研究領域の一つとして疼痛領域に注力しています。BDT272 を開発し販売することにより、新たな治療選択肢を疼痛で苦しむ患者さんに提供できることを期待しています。

なお、本件の 2025 年 3 月期の連結業績予想に与える影響は軽微です。

以上

### 【参考資料】

#### BIODOL 社について

BIODOL 社は 2015 年に設立され、ファースト・イン・クラスの疼痛治療薬の開発を目指しており、受容体型チロシンキナーゼ (RTK) である FLT3 が神経障害性疼痛の発症と持続に深く関与することを見出しました (Nature Communications, 2018)。また FLT3 シグナル伝達の阻害により、オピオイドの鎮痛効果を維持しながらオピオイド耐性と痛覚過敏を抑制することを示しました (Nature Communications, 2024)。BIODOL 社は、種々の疼痛を治療するために、FLT3 受容体アロステリック阻害剤の開発に注力しています。同社は 4 件の特許で構成される特許ポートフォリオを保有し、フランス投資銀行 (BPI France)、SATT AxLR、Inserm Transfert、オクシタニー地方、フランス国立研究機関、SEMIA インキュベーター、モンペリエ・ビジネス・アンド・イノベーション・センターからの支援を受けています。